

宇土市は、市のPRキャラクター「うとん行長ちゃん」の「家」となる、宇土シティモールの拠点づくりを手伝ってくれる市内の小学生を募っている。

市がまちづくりで昨年から連携する崇城大工学部建築学科（熊本市）の内丸恵一研究室の学生が、宇土シティモール内にある市のPRブースの活用策を提案。学生が建築学の知識を生かして子どもたちと家具を手作りし、「行長ちゃんの家」を作る。作業日は8月4日と18日（午前10時～夕方）、9月1日午前の3日間。初日は、参加者でアイデアを出し合い、家具の小型模型作り。2日目は模型を基に実物大の家具を組み立てて、最終日はお披露目会を行う。メンバーで崇城大4年の坂本真希

「行長ちゃんの家」つくろう

宇土市 小学生の参加募集

さんは「家具作りを通して、子どもたちに行長ちゃんをより身近に感じてほしい」。行長ちゃんも「お家作りを手伝ってほしいのだ」と協力を呼び掛けている。

先着順で定員15人。対象は4～6年生で保護者同伴。参加無料で児童のみ昼食が付く。申し込みは市商工観光課 ☎0964(22)11111。

(西國祥太)



「行長ちゃんの家づくり」のポスターを持つ崇城大生と、うとん行長ちゃん＝宇土市